

1 主 題 「本当」の友だち

2 教材名

2 はせがわくんきらいや

3 主題・教材について

『はせがわくんきらいや』は、筆者が自身の幼少期やその頃の友だち、さらには、出会った様々な子どもたちを思い浮かべながら創作された絵本である。ここに登場する「はせがわくん」は、障害のあるなかまとして描かれている。

教材では、「はせがわくん」と一緒に遊んだり、生活を共にしたりする中で、「きらいや」と言いながらも「はせがわくん」のことをとても気かけ、放っておけずにかかわっていく「ぼく」の様子が描かれている。一見「はせがわくん」のことを排除しているようにも思える「ぼく」の言葉が何度も出てくるが、「きらいや」と言いながら、とことんつき合う「ぼく」の姿に、「本当」の友だちとは何なのかを考えさせたい。

さらに、自分たちの学級集団の有り様を見つめ直すきっかけとしたい。

（関連教科・領域：国語、道徳）

4 ねらい ・「きらいや」と言いながらも「はせがわくん」とつき合っていく「ぼく」の姿を通して、「本当」の友だちとは何かを考える。

5 展開例

過程	主な学習活動	指導上の留意点	備考
導入	「はせがわくんきらいや」とは、どんな話だろう。 ・題名から、どんな話を考える。	・自由に発想できるようにする。	
展開	「ぼく」と「はせがわくん」の様子や気持ちを読み深めよう。 ・第1場面（4～5ページ）を読み、状況を理解し、「はせがわくん」や「ぼく」「よっちゃん」の気持ちを考え、発表する。 ・第2場面（6～7ページ）を読み、状況を理解し、「はせがわくん」や「ぼくら」の気持ちを考え、発表する。 ・第3場面（8～9ページ）を読み、「ぼく」の思いを考え、発表する。	・挿絵からも考えさせる。 ・「めちゃくちゃ」と言いながらも、「はせがわくん」を放っておけない「ぼくら」の気持ちをしっかりと読み取らせる。 ・「きらい」と言いながら、「はせがわくん」のことを日記に書いている「ぼく」の、「はせがわくん」に対する深い思いに気づかせる。	
まとめ	学習をふり返ろう。 ・学習をふり返り、「本当」の友だちについて考えたことを感想文にまとめる。	・自分自身の友だちとの関係や学級集団の有り様を見つめさせたい。	

【教材の出典】 『はせがわくんきらいや』 長谷川集平 著（復刊ドットコム）

※ 主題の「本当」には、単に「仲がよい」だけではなく、「互いに支え高め合う関係」という意味を含めて、「」（かぎカッコ）をつけています。